

**26 脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリ治療を受けた症例の割合**  
**27 くも膜下出血の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合**  
**28 脳内出血の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合**

**指標の説明・定義**

脳卒中患者では早期にリハビリテーションを開始することで、機能予後をよくなり、再発リスクの増加もみられず、ADL の退院時到達レベルを犠牲にせずに入院期間が短縮されることが分かっています。

※「日本病院会 QIプロジェクト」より引用

**〔26 脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリ治療を受けた症例の割合〕**

分子 分母のうち、入院後早期（3 日以内）にリハビリテーション治療を受けた症例数  
 分母 18 歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例

**〔27 くも膜下出血の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合〕**

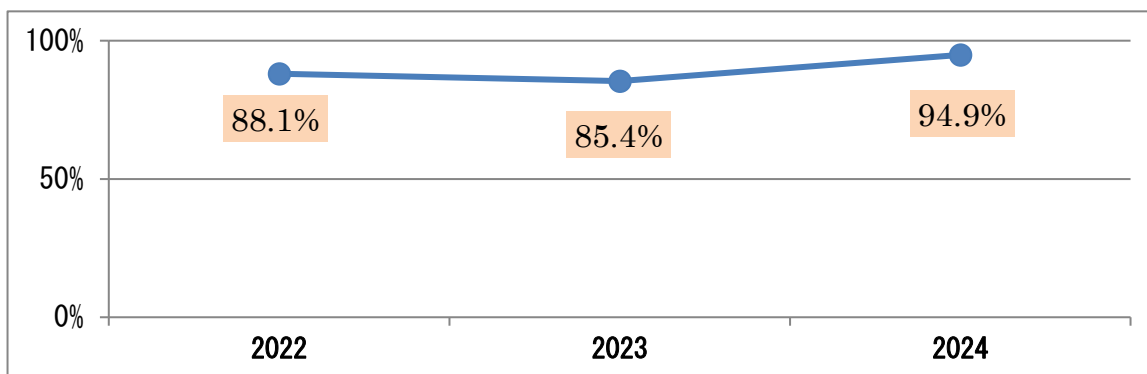
分子 分母のうち、リハビリテーション治療を受けた症例数  
 分母 18 歳以上のくも膜下出血の診断で入院した症例

**〔28 脳内出血の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合〕**

分子 分母のうち、リハビリテーション治療を受けた症例数  
 分母 18 歳以上の脳内出血の診断で入院した症例

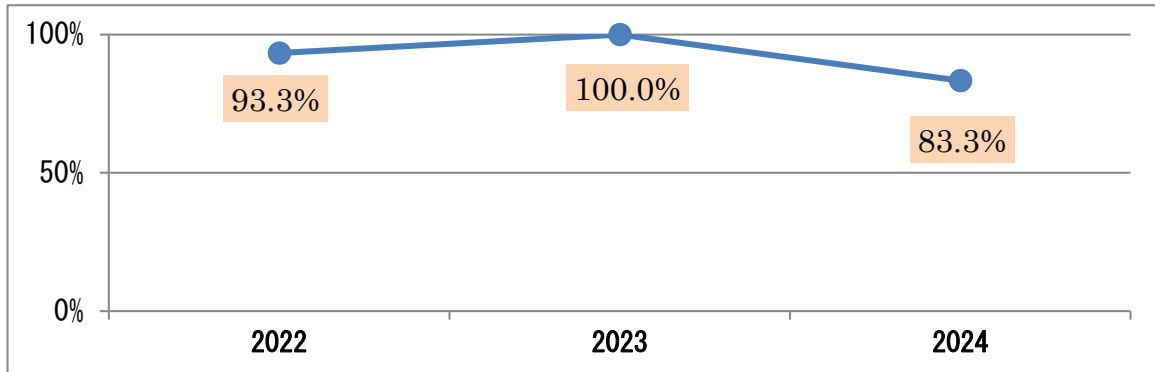
**結果**

**〔26 脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリ治療を受けた症例の割合〕**



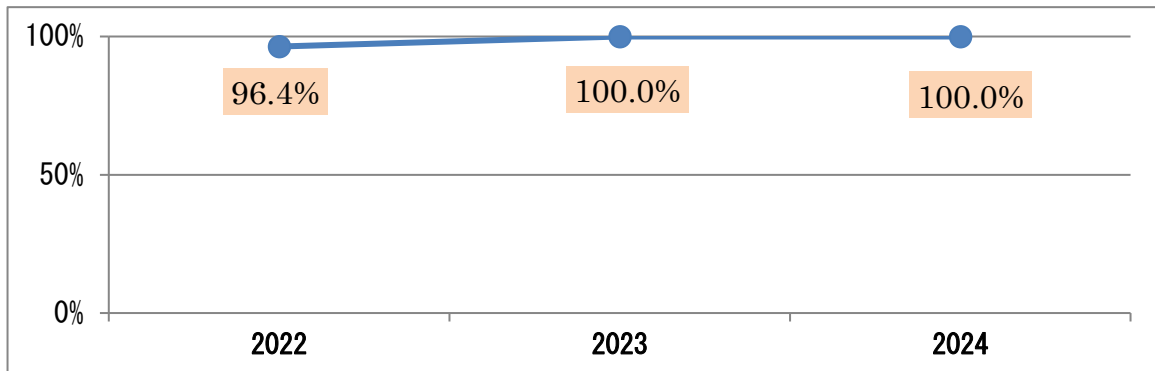
|    | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 |
|----|---------|---------|---------|
| 分子 | 215 人   | 199 人   | 240 人   |
| 分母 | 244 人   | 233 人   | 253 人   |

〔27 くも膜下出血の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合〕



|    | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 |
|----|---------|---------|---------|
| 分子 | 14 人    | 17 人    | 10 人    |
| 分母 | 15 人    | 17 人    | 12 人    |

〔28 脳内出血の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合〕



|    | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 |
|----|---------|---------|---------|
| 分子 | 106 人   | 92 人    | 104 人   |
| 分母 | 110 人   | 92 人    | 104 人   |